

ふれあい

2013

2

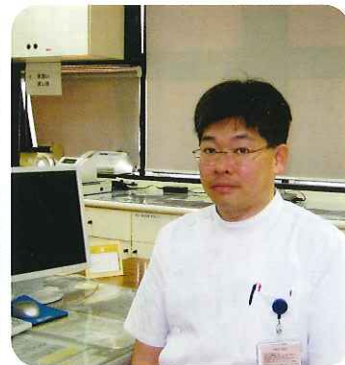
No.311

牛久愛和総合病院 広報誌



花粉症について

耳鼻咽喉科医長 伊藤 昭彦



今年も、そろそろ花粉の季節になります。待ちに待った春なのに花粉症の患者さんにとって、とても憂鬱な季節です。そもそも花粉症とはどんな病気なのでしょう。それはスギの花粉によるアレルギー性鼻炎です。アレルギーというのは体の中の免疫システムが、ある種の物質（抗原）を体に害のあるものと認識し、強力に排除するために機能してしまいます。鼻水が多くなるのは鼻水とともに花粉を排除するためで、くしゃみも同様に花粉を外に追い出すために役立っています。鼻づまりは花粉を吸い込まないように機能しています。しかし、これらの現象は我々にとって不快な症状となってしまう。患者さんの中には花粉症とアレルギー

性鼻炎は違うものと思っている方もいますが、ハウスダストやダニのアレルギーとまったく同じメカニズムで生じています。

今や日本国民の3人に1人が花粉症といわれるほど多い疾患です。では、なぜ花粉症の患者さんが増えてきたのでしょうか。もっとも大きな原因は、終

戦末期に木材として伐採された森林を復興するために、戦後に植林を行ったことに関係しています。もともと、建築などの材料としてスギが選択されたのですが、後に格安な輸入木材が使われるようになり日本のスギの木は使われなくなりスギの林は管理もされず枝が伸び放題となつてしまいました。戦後数十年経過し、木も大きくなり花粉の量も増えていったということですね。他にも花粉症の原因としてディーゼルエンジンの排気ガスや食事の欧米化など様々なことが言われていますが、地域ごとに見ていくと花粉症患者の比率が花粉の量と比例していることから、やはりどれだけ花粉が多い地域に住んでいるかがもっと

も強く関係しているようです。花粉症を軽減するのにもっともよいのは予防です。花粉に暴露しなければ症状がでないのです。まずはマスクやメガネの着用、外出を控える。洗濯物や布団を外に干さないといった防衛である程度花粉の暴露を回避することが可能です。

しかし予防にも限界があります。現在の花粉症治療のメインは薬の治療です。アレルギー性症状が出ないようにする薬がたくさんあります。以前は眠くなる薬が多かったのですが最近はいぶ改良され眠気がほとんど出ない薬も増えてきました。薬の効果も以前のものよりだんだんと良くなっています。あまり薬をのまれたことがなければ、試してみる価値はあると思います。今年の花粉の飛散時期は2月中旬ごろと予想されており、茨城では少なかつた昨年の3倍近い量、平年よりやや多いことが予想されています。花粉飛散開始の1、2週間前から薬を飲み始めることが推奨されており、早めの受診をお勧めします。

認定看護師リレーエッセイ

皮膚・排泄ケア認定看護師とは

認定看護師 相澤 春梨

皆さんは、皮膚・排泄ケア認定看護師をご存知でしょうか。以前はWOC認定看護師と言われていましたが、2007年に分かりやすい名称へ変更され現在に至っています。全国では約1500名の皮膚・排泄ケア認定看護師が働いています。

具体的な仕事の内容としては、「創傷」・「オストミー」(人工肛門・人工膀胱のことです)・「失禁」の3つの領域の看護を専門的にする事です。

「創傷」では、褥瘡(床ずれ)、その他さまざまな創傷やスキンケアに対し看護ケアを実施していきます。「オストミー」では、手術の前から退院後の自宅での日常生活を安心しておくれるよう、支援・指導などを行います。「失禁」では、様々な理由で失禁をおこしている方への看護ケアや失禁予防の助言・指導を行います。

現在の活動内容としては、外

科・泌尿器科病棟での勤務を主としていますが、他病棟に入院

中の方の場合は、病棟看護師からの連絡で訪問をしています。今年1月22日からは「ストーマ

外来」を開設し、日常生活での相談やストーマのケアを実施しています。ストーマ外来は「第2・4火曜日・午後 消化器外科」

「第3水曜日・午後 泌尿器科外来」にて予約制で行っています。

「創傷・オストミー・失禁」の3つの事に関して、心配や疑問などがありましたら、いつでも声をかけていただければご相談にのれると思いますので、よろしく願います。

「からだ情報館」オープン!!



かねてより準備を進めておりました「からだ情報館」がオープンしました。

1月23日(水) 午後2時より牛久市教育部長 吉田次男様、牛久市女性の会 山本恵美子様、外部評価委員の方々をお招きし、オープニングセレモニーが行なわれました。高崎院長の挨拶に続き吉田次男様、山本恵美子様よりご祝辞を頂戴し、いよいよテープカットとなりました。

た。外部評価委員の山本和様、高崎院長、居代理事がテープの前



に合わせてはさみを入れ、「からだ情報館」がオープンいたしました。

「からだ情報館」は、病気やからだについて様々な情報を得るための場所です。患者さん以外の方も気軽にご利用いただけるスペースです。

「からだ情報館」には、大きく分けて3つのコーナーがあります。

図書スペース・医学関連、一般、子供向けの書籍と各種医療情報パンフレットが置いてあります。現在は館内での閲覧のみとなっておりますが、今後貸出しに向けて準備中です。(パンフレットはお持ち帰り頂けます。)ギャラリースペース・絵画・写真など皆さんの作品をご展示

頂けます。(申込制・無料)

地域コミュニケーションスペース…カルチャー教室、ミニコンサートなどにご利用頂けます。(申込制・無料)

今後皆さんのご要望にお応えできるよう内容を充実させていただきます。お時間があるとき、ちよつと休憩したいときなどお気軽にお立ち寄り下さい。

「からだ情報館」図書スペースに、外部評価委員の山本和様より多くの書籍を寄贈して頂きました。ありがとうございます。

『第33回』生活習慣病教室
テーマ 生活習慣と口腔疾患
(口の中の病気)

日時 3月21日(木)
14時30分から約一時間

講師 歯科口腔外科医長 山崎 善純医師
会場 牛久愛和総合病院 B館2階 大ホール
参加費 無料

今回は、口の中の病気につ

◎お問い合わせ先
牛久愛和総合病院 総務課
電話 029-873-3111(代)



春秋園だより

年が変わり早一か月。まだまだ寒い日々が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？風邪も流行っているので、皆様も体調に気を付けてください。

さて、入所フロアでは、一月二十日、二十七日の二日間にかけて、千勝神社へと初詣に行ってきました。一月半ばに雪が降ったので、初詣当日に晴れるか心配でしたが、二



日も気持ちのよい晴天となりました。若干の風もあり少し寒さもあつたため、利用者様も外に出ると「寒いね」と一言。神社までの車での移動中は、やはり久々の外出ということもあり、外を真剣に眺めていました。

千勝神社へ到着すると利用者の皆さんはとっても良い笑顔を見せてくれました。まずは、皆で一緒にお賽銭を入れ、今年の願い事をしました。何をお願いしたか聞くと「なんだろうねえ」と秘密にされる方もいれば、「家族が幸せでいられるように」と笑顔で話される方もいらつしやいました。願いの後は、神社内を皆様一緒にまわり、おみくじをひいたり、お守りを買ったりと初詣を楽しまれました。利用者様はいつも以上に明るく元気な表情をされていました。今後も皆様と一緒に楽しめるような行事・外出を行いたいと思います。

(入所スタッフ一同)

入 職 者

①担当 ②専門とその紹介 ③出身大学 ④趣味 ⑤生年月日 ⑥血液型 ⑦星座



1/1 付入職
整形外科
滑川陽一
(東京女子医大)

①月・火・土曜日(午前)
②整形外科診療一般
③東海大卒 ④サッカー ⑤昭和60年3月12日 27才 ⑥B型 ⑦うお座



1/1 付入職
脳神経外科
大村佳大
(東京女子医大)

①金曜・午前 ②専門は脳神経外科になりますが、入局一年目であり、大学病院とは違った外傷や緊急症例を中心に学びたいと思います。未熟者ですがよろしくお願い申し上げます。

③福島県立医科大学出身・初期研修、東京女子医科大学
⑤昭和60年5月28日 27才
⑥O型 ⑦双子座

1月4日付

■ 生理検査科

臨床検査技師 飯島 明子
仕事と育児を両立できるようにめざしています。新しい環境は緊張と楽しみの半々です。

■ 春秋園

1月16日付

■ ケアサービス部

ヘルパー 酒寄 佑司
明るく笑顔を忘れずに、利用者の皆様が、安心していただける仕事を行っていきます。

■ 退職にあたって



12/31付退職
整形外科医長
池田寛

3年間お世話になりました。これからも地域医療に努めたいと思います。



12/31付退職
脳神経外科
橋出秀清

2011年7月から赴任して1年6カ月間研修させていただきました。

きました。

茨城県にきたのは初めてで、それまでは都内に住んでいたことから交通の便やスーパー、コンビニなど生活面、インフラなどで不便を感じたものでした。しかし住めば都という通りで、今は特に不自由に感じることなく、忙しい日々の中で田んぼの風景に癒されたりします。また食材がよく、特に野菜は美味しくて地価が安いのもあるのか、レストランに行けば都内のおよそ半額で外食することが出来ます。ただ唯一耐えられないものがあります。それは冬の寒さです。車が凍るという状況に今まであったことがなく、寝るときは羽毛布団だけでは寒いのでヒートテックに、フリース、さらにダウンを着て寝ました。一方で「愛和」の中は暖かい人ばかりで仕事をする上で融通がきいたり他科の先生、コメディカルの方々とともに仕事のしやすい環境でした。

この業界は狭いですからまたどこかでご縁があったときは宜しくお願いします。

《出来事ピックアップ》

バザー

12/22

医療ガス安全講習会

1/17



今年も、毎年恒例のバザーが開催されました。様々な品が寄せられ、多くの方々に来場頂きました。皆様、じっくり吟味しながら、楽しくお買物されていたのがとても印象的でした。

ご協力頂いた売り上げは、当院託児所マリア・ナーサリーの運動会資金として活用させて頂きます。マリア・ナーサリーの子どもの楽しい思い出も、皆様の温かい気持ちに支えられているんだと改めて実感したバザーとなりました。ご協力頂いた皆様、ありがとうございます。

(父母会長 弓指)

編集だより

例年より寒さが厳しかった冬もそろそろ終わり春が近づいてきました。花粉も飛び始めたようです。昨年より多く飛散する予報も出ていますので、マスクやメガネで予防しましょう。(S・K)

(医療ガス安全管理委員会 稲葉)



病院理念 我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床 (一般434床 医療療養型55床)

施設

敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1032台



診療科目

【一般外来】

総合診療科(内科)、消化器内科、内分泌内科、糖尿病・代謝内科、循環器科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、心療内科、小児科、総合外科、救急科、甲状腺・内分泌外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、内視鏡科、形成外科、整形外科、ペインクリニック科、産婦人科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、歯科口腔外科、透析外来(シャント外来)

【専門外来】

整形専門(股関節、脊椎、スポーツ)
小児科(小児循環器、小児心理)
循環器(心臓血管外科)
形成外科(アンチ・エイジング、レーザー)
皮膚科(レーザー)

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

 牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

総合健診センター	Tel 029-873-4334
健康増進施設 スポーツリラックス	Tel 029-874-8791
介護老人保健施設 春秋園	Tel 029-870-3100

